

二度目の月食



というわけで、2016 年 11 月のスーパームーン
のとき、すったもんだの末に「一応」月の写真
が撮れたこともあり、今年めったに見られない
「赤い月」を撮ってやろうと考えていた。ところ
が、2018 年 1 月 31 日の皆既月食は生憎の天気で、
写真が撮れなかったばかりか、肉眼で見ること
もできなかったのが結構くやしかったのである。実
際には準備らしい準備は何もしていなかったの
だから、悔しがる資格はなかったというのが本当
のところであるが。

先日、国立天文台のホームページの「ほしぞら
情報 2018」を見ていたら、7 月に「2018 年最
小の満月・皆既月食」とあった。リンクをたど
ると、7 月 28 日の満月は 2018 年で最小で、し
かも皆既月食が起こると書いてあった。7 月 28
日である、1 月とは異なり寒さに震えることも
ないであろうし、天気次第で「赤い月」が拝
めて、月のそばにはこちら赤い火星が見える
という。頭のなかでは赤い月と火星が並んだ
写真を思い浮かべ、すでに仇を取ったよう
な気分である。

しかし、世の中はそんなに甘くない。情報を
よく見ると、「おおよそ東北地方以西で月の
入りの前に皆既食を迎え、月は皆既食のま
ま沈みます。」と書いてある。満月で月の
入りの前、といえ早朝である。部分食の
始まりは 3 時 24 分過ぎで、皆既食の
開始は 4 時 30 分、食が最大となる
時刻は 5 時 21 分過ぎで、月の入りは
5 時 30 分頃とのことである。

これを見て、次に見たのは 7 月の
カレンダーである。すると、7 月 28
日は土曜日であった。ま、土曜日
だから一晩寝なくてもどうにか
なるか、と楽観的に考える。し
かし、本当に起きていられる
かどうかは、また別の問題であ
る。いずれにせよ、3 か月ほど
先のことであり、これから月
食の写真の撮り方を調べ、
タイムラプスなども撮って
みたいなどと、分不相応なこ
とを勝手に考えている。そう
言えば、世の中には、ポータ
ブル赤道儀なるものが存在
し、星空や月の写真撮影も
敷居が低くなっているよう
である。やはり、金がものを
言う世の中ではある。

自動車保険・火災保険・積立保険・交通事故傷害
保険・医師賠償責任保険・所得補償保険・傷害保険ほか

あなたにしあわせをつなぐ

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 代理店
共栄火災海上保険株式会社 代理店
山 福 株 式 会 社
TEL 083-922-2551